

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公開番号】特開 2006-92116 (P2006-92116A)
【公開日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)
【年通号数】公開・登録公報 2006-014
【出願番号】特願 2004-275031 (P2004-275031)
【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 4 6 M

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 21 日 (2007.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画面と対応するメンバ変数を格納する格納手段と、

前記画面を表示するためのデータをクライアント端末に送信する送信手段と、

前記画面にしたがって入力された情報を、前記クライアント端末から受信する受信手段と、

前記受信手段により前記情報を受信すると、前記格納手段に格納された前記画面と対応するメンバ変数が所定の値であるかをチェックするチェック手段と、

前記チェック手段によるチェック結果に応じて、前記受信手段により受信された前記情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に前記情報が記憶されると、前記格納手段に格納された前記画面と対応するメンバ変数を更新する更新手段とを備え、

前記格納手段は、前記記憶手段に前記情報が記憶されると、前記画面の次の画面と対応するメンバ変数に前記所定の値を格納することを特徴とする W e b サーバ。

【請求項 2】

前記記憶手段は、前記チェック手段により前記画面と対応するメンバ変数が前記所定の値であるとチェックされたことに応じて、前記受信手段により受信された前記情報を記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の W e b サーバ。

【請求項 3】

前記送信手段は、さらに、前記チェック手段により前記画面と対応するメンバ変数が前記所定の値でないとチェックされたことに応じて、エラー画面を表示するためのデータを前記クライアント端末に送信することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の W e b サーバ。

【請求項 4】

前記格納手段は前記画面と対応するメンバ変数に、前記画面の前の画面または次の画面と対応する情報も格納することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の W e b サーバ。

【請求項 5】

画面と対応するメンバ変数を格納するステップと、

前記画面を表示するためのデータをクライアント端末に送信するステップと、

前記画面にしたがって入力された情報を、前記クライアント端末から受信するステップと、

前記情報を受信すると、前記格納された前記画面と対応するメンバ変数が所定の値であるかをチェックするステップと、

前記チェック結果に応じて、前記受信された前記情報を記憶するステップと、

前記情報が記憶されると、前記格納された前記画面と対応するメンバ変数を更新するステップと、

前記情報が記憶されると、前記画面の次の画面と対応するメンバ変数に前記所定の値を格納するステップとを備えたことを特徴とする W e b サーバの制御方法。

【請求項 6】

コンピュータに、

画面と対応するメンバ変数を格納するステップと、

前記画面を表示するためのデータをクライアント端末に送信するステップと、

前記画面にしたがって入力された情報を、前記クライアント端末から受信するステップと、

前記情報を受信すると、前記格納された前記画面と対応するメンバ変数が所定の値であるかをチェックするステップと、

前記チェック結果に応じて、前記受信された前記情報を記憶するステップと、

前記情報が記憶されると、前記格納された前記画面と対応するメンバ変数を更新するステップと、

前記情報が記憶されると、前記画面の次の画面と対応するメンバ変数に前記所定の値を格納するステップとを実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

上述の目的は、画面と対応するメンバ変数を格納する格納手段と、画面を表示するためのデータをクライアント端末に送信する送信手段と、画面にしたがって入力された情報を、クライアント端末から受信する受信手段と、受信手段により情報を受信すると、格納手段に格納された画面と対応するメンバ変数が所定の値であるかをチェックするチェック手段と、チェック手段によるチェック結果に応じて、受信手段により受信された情報を記憶する記憶手段と、記憶手段に情報が記憶されると、格納手段に格納された画面と対応するメンバ変数を更新する更新手段とを備え、格納手段は、記憶手段に情報が記憶されると、画面の次の画面と対応するメンバ変数に所定の値を格納することを特徴とする W e b サーバによって達成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

また、上述の目的は、画面と対応するメンバ変数を格納するステップと、画面を表示するためのデータをクライアント端末に送信するステップと、画面にしたがって入力された情報を、クライアント端末から受信するステップと、情報を受信すると、格納された画面と対応するメンバ変数が所定の値であるかをチェックするステップと、チェック結果に応じて、受信された情報を記憶するステップと、情報が記憶されると、格納された画面と対応するメンバ変数を更新するステップと、情報が記憶されると、画面の次の画面と対応するメンバ変数に所定の値を格納するステップとを備えたことを特徴とする W e b サーバの

制御方法によっても達成される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

また、上述の目的は、コンピュータに、画面と対応するメンバ変数を格納するステップと、画面を表示するためのデータをクライアント端末に送信するステップと、画面にしたがって入力された情報を、クライアント端末から受信するステップと、情報を受信すると、格納された画面と対応するメンバ変数が所定の値であるかをチェックするステップと、チェック結果に応じて、受信された情報を記憶するステップと、情報が記憶されると、格納された画面と対応するメンバ変数を更新するステップと、情報が記憶されると、画面の次の画面と対応するメンバ変数に所定の値を格納するステップとを実行させるためのプログラムによっても達成される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

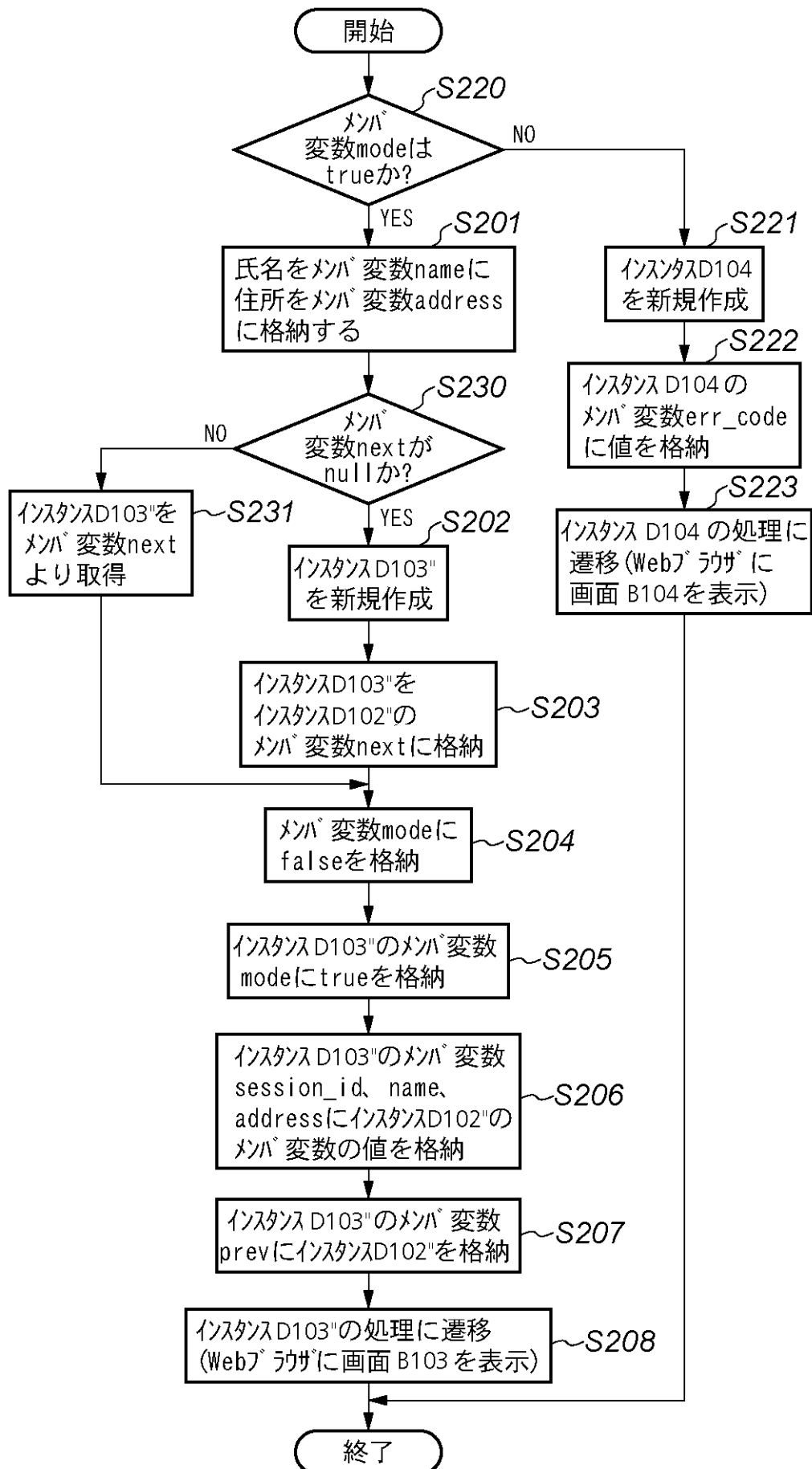
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】



【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 1 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 図 1 0 】

